

平成 23 年 5 月 13 日

会社名 株式会社アールテック・ウエノ

問合せ先 ビジネスマネジメント部長 中村 宏司

電話番号 03-3596-8011

平成 23 年 3 月期通期の業績に関するお知らせ

当社は、本日平成 23 年 3 月期決算短信を発表しましたのでお知らせします。
当期における主な内容は以下の通りです。

【前期比較と計画達成率】

(単位：千円)

	2010 年 3 月期 (前期実績)	2011 年 3 月期 (当期実績)	2011 年 3 月期 (通期計画)	対前年		計画達成率
				増減額	増減比	
売上高	4,162,528	4,204,812	4,534,069	42,284	1.0%	92.7%
レスキュラ®点眼液	2,636,205	2,184,344	2,417,432	-451,861	-17.1%	90.4%
Amitiza®カプセル	1,322,518	1,940,389	1,957,270	617,871	46.7%	99.1%
研究開発支援サービス	203,799	80,079	159,367	-123,720	-60.6%	50.3%
売上総利益	2,803,796	2,855,675	2,824,745	51,879	1.9%	101.1%
研究開発費	1,362,896	1,040,299	1,161,057	-322,597	-23.7%	89.6%
営業利益	728,997	998,875	920,737	269,878	37.0%	108.5%
経常利益	732,768	1,006,919	928,280	274,251	37.4%	108.5%
当期利益	666,782	1,248,187	1,231,353	581,405	87.2%	101.4%

経営成績について

・当期（2010年4～2011年3月）の業績は、売上高 4,204 百万円（前年同期 4,162 百万円、1.0%増）、営業利益 998 百万円（同 728 百万円、37.0%増）、経常利益 1,006 百万円（同 732 百万円、37.4%増）、当期純利益 1,248 百万円（同 666 百万円、87.2%増）となりました。また、2010年8月12日に発表した特別利益の発生および業績予想の修正に関するお知らせに記載の通期計画に対する達成率はそれぞれ、売上高が 92.7%、営業利益が 108.5%、経常利益が 108.5%、当期純利益が 101.4%となっております。営業利益、経常利益、純利益とも当社計画を上回る結果となりました。

【四半期実績推移】

（単位：千円）

	平成 23 年 3 月 第 1 四半期	平成 23 年 3 月 第 2 四半期	平成 23 年 3 月 第 3 四半期	平成 23 年 3 月 第 4 四半期	合計
売上高	935,169	1,011,358	831,890	1,426,393	4,204,812
レスキュラ [®] 点眼液	384,220	571,403	423,327	805,485	2,184,348
Amitiza [®] カプセル	554,486	394,744	389,017	612,037	1,940,385
研究開発支援サービス	6,360	45,210	19,635	8,871	80,079
売上総利益	591,504	685,477	556,084	1,022,610	2,855,675
研究開発費	157,120	254,322	317,430	311,426	1,040,299
営業利益	260,398	216,860	35,041	486,575	998,875
経常利益	258,643	214,022	42,339	491,915	1,006,919
当期利益	163,003	684,252	78,775	322,157	1,248,187

財政状態について

・当期末の資産合計は、8,493 百万円（前期比 20.6%増）となりました。これは主として田辺三菱製薬からの受取和解金を受領したことに加え、Sucampo Manufacturing & Research AG 社（以下 SMR 社）からのウノプロストンに関するライセンス収入が発生したため、現金及び預金が 3,196 百万円から 4,741 百万円（同 48.3%増）となったことによるものです。

負債合計は、1,257 百万円（同 42.2%増）となりました。これは主として未払法人税等が 244 百万円から 451 百万円（同 84.8%増）となったことに加え、繰延税金負債が 112 百万円から 259 百万円（同 130.6%増）となったためであります。

純資産合計は、7,235 百万円（同 17.5%増）となりました。これは主として当期期純利益 1,248 百万円を計上したことによるものです。

経営に関する最新情報（平成 23 年 1 月 1 日から現在まで）

・平成 23 年 1 月 13 日、スキャンポ社は、オピオイド誘発性腸機能障害治療薬として開発中のルビプロストン（製品名：Amitiza[®]カプセル）の第 3 相臨床試験を米国及び欧州で開始したことを発表いたしました。当社はスキャンポ社との間で、ルビプロストンの北米地域における独占的製造供給契約を締結しております。

・平成 23 年 1 月 24 日、男性型脱毛症治療薬として開発中の RK-023 について、前期第 2 相臨床試験を完了させたことを発表いたしました。安全性については RK-023 とプラセボとの差異はみられませんでした。また、有効性についても外観写真評価での改善及びフォトトリコグラムにより成長期毛の減少抑制の可能性がみられました。

・平成 23 年 1 月 27 日、平成 23 年 3 月末現在の当社株主に対し、株主優待講演会を開催することを発表いたしました。

- ・平成 23 年 2 月 9 日、睫毛貧毛症治療薬として開発中の **RK-023** について、第 1 相臨床試験を開始したことを発表いたしました。

- ・平成 23 年 2 月 10 日、業績目標に対する達成状況等を慎重に検討した結果、平成 23 年 3 月期末配当を 1 株当たり 3,000 円に増配することを決定いたしました。

- ・平成 23 年 3 月 18 日、東北地方太平洋沖地震による被災者の救済及び被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社に対し、5,000 万円の義援金を寄贈することを決定いたしました。

- ・平成 23 年 3 月 22 日、当社は **SMR** 社との間でウノプロストンの日本、中国、台湾、韓国及び北米以外の地域における開発、製造及び商業化権のライセンス契約を締結いたしました。同契約締結により、3 百万ドルを契約一時金として受領し、その後も開発ステージの進捗や販売数量に応じてマイルストーンの支払を受けます。

本日、平成 23 年 3 月期決算短信について、経営陣を代表して当社代表取締役社長 真島行彦は、以下のコメントを発表しました。

「当社は本日、平成 23 年 3 月期決算短信を発表しました。利益についてはそれぞれ平成 22 年 8 月 12 日に発表した業績予想の修正における予想値を上回る結果となりました。

当社の注力する研究開発では、まず眼科領域で未だ治療薬や治療法が確立されていない網膜色素変性の第 2 相臨床試験が終了し、中心部の網膜感度が悪化する患者様の数を有意に減らすことができました。皮膚科領域では、男性型脱毛症に対する **RK-023** の前期第 2 相臨床試験が終了し、安全性についての評価が得られ、有効性について手応えがありました。更に睫毛貧毛症に対する **RK-023** の第 1 相臨床試験にも着手し、研究開発パイプラインについてはそれぞれ順調に進んでおります。

本日平成 24 年 3 月期の業績予想を発表し、前期に比べ増収、営業利益・経常利益については増益を予想しております。来期は、ウノプロストン事業において、**SMR** 社から追加のライセンス収入が見込まれることに加え、米国での再上市を見込んでおり、今後ともグローバルな展開を図ってまいります。

また、現在開発中の化合物である UF-021 や RK-023 については、国内外の有望な製薬企業との提携やライセンスの譲渡を視野に積極的に交渉を進めてまいります。」

以 上